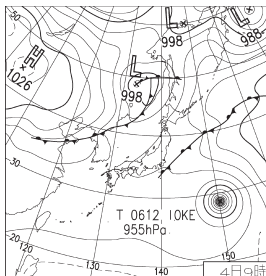


# 日々の天気図

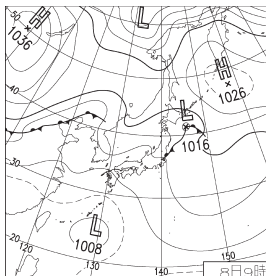
— No. 56

## 2006年9月

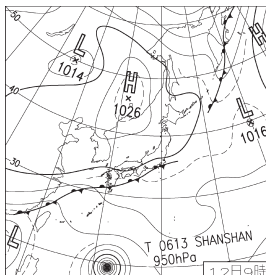
- ・6日、南岸に停滞前線、四国大雨、高知県室戸市佐喜浜226.5mm/3h、
- ・16日～17日、前線の停滞、熱帯低気圧接近、台風第13号上陸により九州大荒れ、大分県佐伯市283mm/3h、佐賀県伊万里市226.5mm/3hの大雨、最大瞬間風速は西表島69.9m/s、長崎県雲仙市58.1m/sなど、(気象庁予報部予報課)



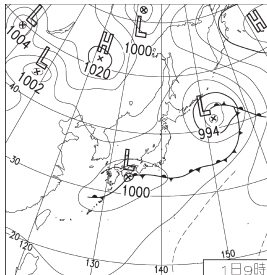
**4日(月)本州は厳しい残暑**  
前線が東海上へ去り、東北から中国地方まで概ね晴れ。最高気温が平年より2～5℃高く、鳥取市で34.4℃。九州、北海道は曇り、南西諸島は大雨の状態が不安定、一部で強い雨。



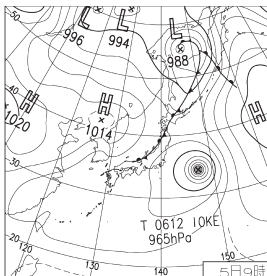
**8日(金)西日本残暑続く**  
前線や低気圧は日本の東海上に、日本海側は晴れて太平洋側は曇りや雨。茨城県大子町43.5mm/1hの激しい雨。沖縄付近は上空の寒気の影響で積乱雲が発達、所々にわか雨。



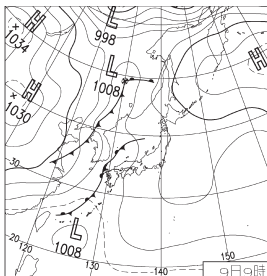
**12日(火)前線北側は秋の空気**  
前線は九州～関東の沿岸に停滞。前線付近は30～50mm/1hの激しい雨。関東・東北は北東から冷たい空気が入り、最高気温は10月上～中旬並み。北海道や南西諸島は概ね晴れ。



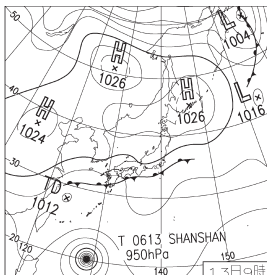
**1日(金)南島島で全島避難**  
南海上の前線を低気圧が東進、西～東日本で雨、太平洋側を中心に激しく降る。北日本で曇りや雨。南西諸島で晴れやわか雨。非常に強い台風第12号接近、南島島全島避難。



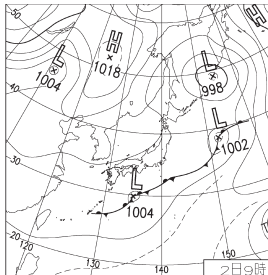
**5日(火)厳しい残暑続く**  
前線が北海道から北陸・山陰にかけ、四国・九州も含め曇りや雨。東日本の太平洋側は晴れ。埼玉県熊谷市では平年より6.8℃高い36.0℃の最高気温。



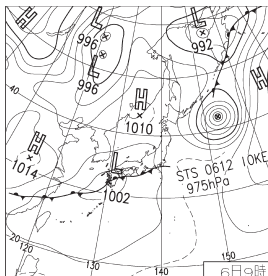
**9日(土)日本海側フェーン昇温**  
九州西海上～日本海中部に前線が停滞。北陸で35℃を超え富山市秋ヶ島で37.1℃の最高気温。暖かく湿った気流が入った西日本の一部で激しい雨。高知県の町成山で52.5mm/1h。



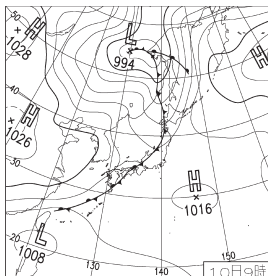
**13日(水)真夏と秋が同居**  
秋雨前線、本州南岸に停滞。東北～九州にかけては曇りや雨で、最高気温は10月中下旬並み、東京都千代田区は19.4℃、今秋初の20℃以下。北海道と沖縄は晴れて真夏並みの所も。



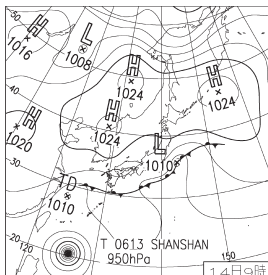
**2日(土)涼しい朝、暑い朝**  
本州付近は日本海の高気圧に覆われ、日中乾燥した晴れ。朝の最低気温は、関東甲信や東海で平年より2～4℃低いが、沖縄県南大東村在所は平年より3.9℃高い28.7℃。



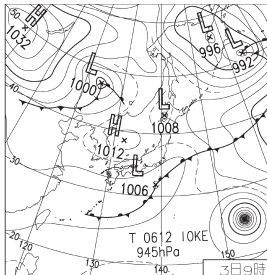
**6日(水)四国で猛烈な雨**  
沿岸の停滞前線を低気圧が東進。九州～東北にかけて積乱雲が発達。各地で大雨、高知県室戸市佐喜浜128mm/1h、9月の歴代1位、高知空港102mm/1h、北海道は概ね晴れ。



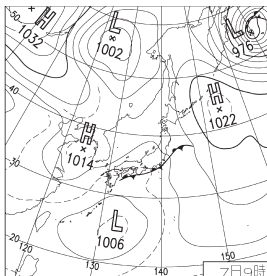
**10日(日)前線 日本列島を縦断**  
前線に伴って強雨域も東に移動。関東～東海で晴れの他は曇りや雨。熊本県五木村で70mm/1hの非常に激しい雨。静岡県清水、最高気温35.3℃。フィリピンの東で台風第13号発生。



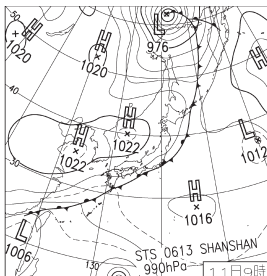
**14日(木)台風第13号西進**  
西日本からの雨域は順調に東進し、昼過ぎには三陸沖へ抜けた。北海道と東北北部は雨れや曇り。東日本部から東日本は雨から曇りへ。西日本では朝のうち雨でその後は晴や曇り。



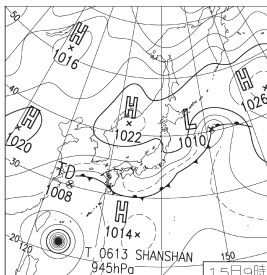
**3日(日)北海道と沖縄で雷雨**  
北海道西岸に低気圧、沖縄には前線がのびる。北海道と南西諸島で積乱雲が発達、所々に雷雨。他は高気圧に覆われて概ね晴れ。沖縄県名護市61mm/1h、渡嘉敷村46.5mm/1h。



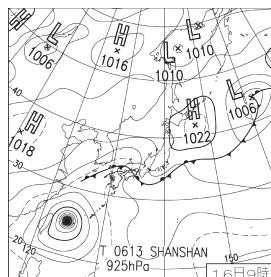
**7日(木)秋雨前線 本州南岸に**  
前線の抜けた九州で終日晴れの他は曇りや雨。北陸は雷雨。和歌山県白浜町で76mm/1hの非常に激しい雨。年間の極値更新。台風第12号はカムチャツカの東で温帯低気圧に。



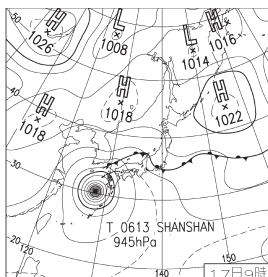
**11日(月)前線南下で激しい雨**  
明け方、関東を前線が南下し、雷を伴った激しい雨。栃木県佐野市で44mm/1h。九州、東海で午後不安定。熊本県湯前町湯前橋谷で70mm/1h、愛知県豊村茶臼山で64.5mm/1h。



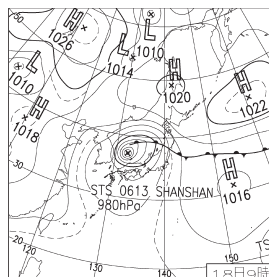
**15日(金)台風第13号北西進**  
日本海の高気圧が北日本を覆う。前線は東日本では南海上へ南下、東シナ海では北上。北日本、北陸、近畿、中国、四国は概ね晴れ。関東、東海は曇り。南西諸島の一部や九州で雨。



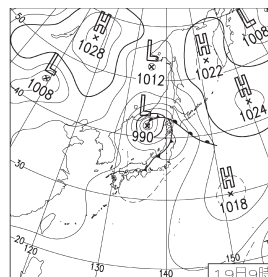
**16日(土)台風西表島付近を通過**  
台風第13号が通過し、西表島で最大瞬間風速北東69.9 m/s。前線近くの九州北部で猛烈な雨。大分県佐伯市蒲江では2時間連続で100 mm以上、283 mm/3 hの猛烈な雨。



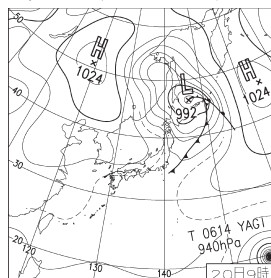
**17日(日)台風 長崎県に上陸**  
台風第13号は強い勢力で長崎県佐世保市付近に上陸。最大風速は長崎市野母町46 m/s、長崎県大村市42 m/s。九州は激しい雨と暴風。宮崎県延岡市で竜巻被害。台風第14号発生。



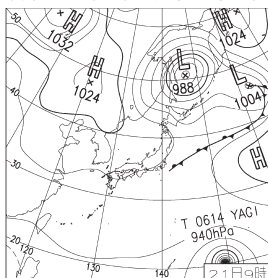
**18日(月)台風第13号 温低化**  
強雨域は西日本から東日本、北日本へと移動。西日本の所々で非常に強い風。和歌山市やヶ島日最大風速27 m/s。九州は激しい雨と暴風。宮崎県延岡市で竜巻被害。台風第14号発生。



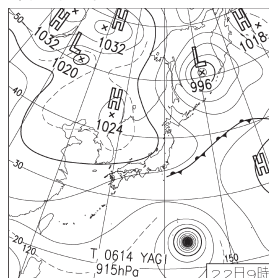
**19日(火)関東地方で残暑**  
台風第13号から変わった低気圧は日本海北部を北東進。北海道や東北は曇りや雨。前線の影響で近畿、中国は雨や曇り。四国、九州は晴れ、関東は昼過ぎまで晴れて真夏日。



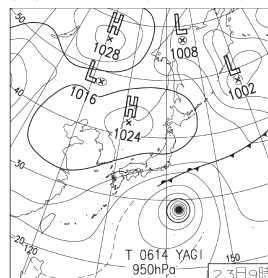
**20日(水)低気圧 北海道に接近**  
3時オホーツク海にのびる前線上に別の低気圧が発生。発達しながら北上。九州南部と北日本で曇りの所がある他は、西から高気圧に覆われてほぼ全国的に晴れ。



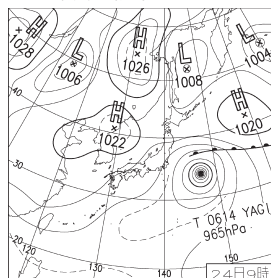
**21日(木)台風第14号猛烈な勢力**  
九州南部と先島諸島で曇りや雨の他は概ね晴れ。最高気温はほぼ平年並みか平年より2~3°C高い9月上旬~中旬並み。雨の降った先島諸島では11月上旬並みの気温。



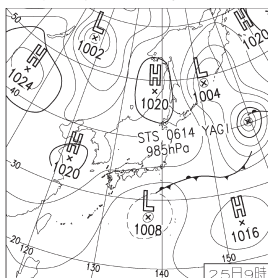
**22日(金)台風第14号小笠原通過**  
日本付近は高気圧に覆われ概ね晴れたが、関東や東海は曇りや雨。朝の最低気温は東北で平年より3~4°C低い。台風第14号は翌朝にかけ父島の西を通過。最大瞬間風速58.8 m/s。



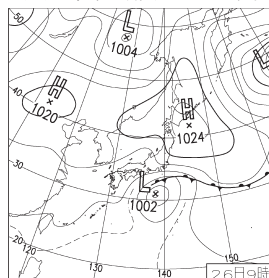
**23日(土)全国的に秋晴れ**  
高気圧に覆われて各地、概ね晴れてさわやかな天気。台風第14号は小笠原諸島から遠ざかる。父島の日最大風速31.5 m/sは9月の1位。北海道から旭岳の初冠雪の便り。



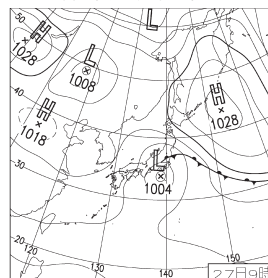
**24日(日)秋晴れ続く**  
引き続き高気圧に覆われ、全国的に概ね秋晴れ。南西諸島、九州南部で気圧の谷により一時雨。台風第14号は日本の東海上を北東進。本州太平洋側には台風からのうねりが入る。



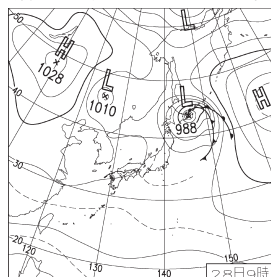
**25日(月)台風第14号 温低に**  
日本海の高気圧に覆われて、全国的には概ね晴れたが、関東南岸や紀伊半島南部、四国の一部で曇りの所がある。台風第14号は15時に日本のはるか東で温帯低気圧に。



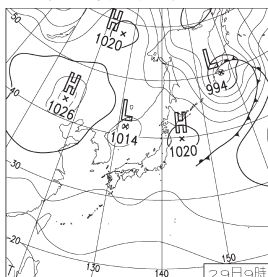
**26日(火)台風第15号発生**  
北海道と近畿を除く西日本、南西諸島は概ね晴れ。その他は曇りや雨で、午後、東海~関東を中心に激しい雨。茨城県つくば市観野47 mm/1 h、9時フィリピンの東で台風第15号発生。



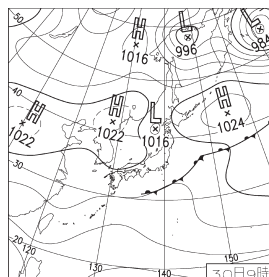
**27日(水)関東、東北で大雨**  
低気圧が本州南岸から北上、関東~東北南部の沿岸部で50 mm/1 hを超え、千葉県大多喜町196.5 mm/24 h、宮城県亶理町175.5 mm/24 hの大雨。西日本は広範囲で晴れ。



**28日(木)北海道 荒れた天気**  
発達した低気圧が北海道の東海上を北上。北海道や本州の日本海側では曇りや雨。北海道網走支庁藻琴山で105 mm/24 hの大雨、えりも岬で日最大風速24 m/s。

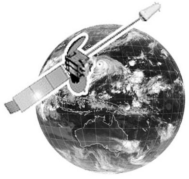


**29日(金)ほぼ全国的に晴れ**  
高気圧に覆われ北日本や西日本は晴れ、東北南部太平洋側と関東は北東から冷たい気流が入り曇り。北海道北部は寒気の影響で一部で雨、留萌支庁幌延町39.5 mm/1 h。



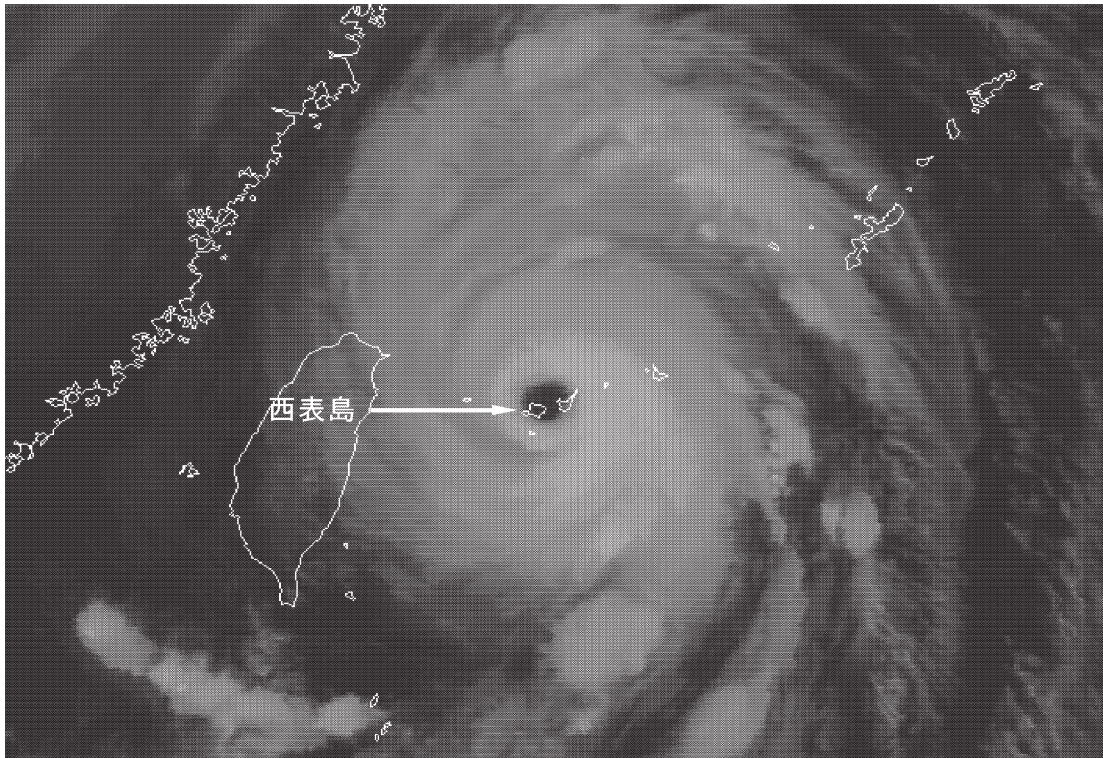
**30日(土)北海道南部で強い雨**  
大陸からの高気圧が日本付近を覆い、本州南海上には前線が停滞。本州南部沿岸で曇りの外は概ね晴れ。上空に寒気を伴う低気圧の接近で、北海道登別町28 mm/1 h。





## 今月のひまわり画像—2006年9月

### 西表島の真上を通過した台風



2006年9月16日6時の赤外画像

台風が最盛期に入ると、積乱雲で構成された滑らかな雲頂を持つ円形状の雲域と中心付近では眼の壁雲と呼ばれる内側に眼が形成される。眼の内部では気圧がほぼ一定で風も弱く、弱い下降流となっているため雲の殆ど無い領域となっている。

画像は9月16日6時の赤外画像である。この時刻には西表島が台風の眼の中心に入り、眼の周辺は雲頂高度の高い積乱雲で覆われ、中心に向かって外側から厚い濃密な雲バンドが巻き込んでいる。西表島では、台風が中心が接近する4時の平均風速は37.9 m/s、5時の前1時間降水量は52.5 mmと猛烈な風と非常に

激しい雨となっていたが、中心が通過する5時40分頃には風は急速に弱まり雨も観測されていない。この台風により、西表島では最低気圧が923.8 hPaまで下がり、最大瞬間風速が69.9 m/sの猛烈な風を記録した。

この台風第13号は沖ノ鳥島の南で発生、その後八重山地方を通過し、九州北部に上陸後日本海に達した。この台風の影響により九州及び中国地方を中心に死者や鉄道及び道路に大きな被害が発生した。台風接近時には台風情報を的確に把握し、甚大な被害が発生しないように心掛けたいものである。

(気象衛星センター)